

---

---

# 消

# 防

---

---

1. 消 防 の 概 要 - 391-
2. 消 防 署 - 394-
3. 職 員 の 配 置 状 況 - 397-
4. 消 防 車 両 等 の 配 備 状 況 - 398-
5. 消 防 団 - 399-
6. 消 防 水 利 状 況 - 400-
7. 防 火 ・ 防 災 訓 練 と 主 な 行 事 - 401-
8. 救 急 活 動 - 402-
9. 火 災 概 況 （ 前 年 と の 比 較 ） - 403-
10. 通 信 施 設 - 404-

## 1. 消防の概要

世界に誇る文化遺産をはじめ数多くの文化財を抱える奈良市の消防は、「火を出さない、出させない」を合言葉とし、安心・快適なまちづくりを目指し、消防行政を推進している。

現在、中央・南・西・北・東の5消防署と6分署を拠点として機動力を発揮し、地域に密着した消防業務を実施している。今後、社会経済環境の変化とともに複雑多様化する災害に対応する消防体制の確立を期していく。

### (1) 予防消防

#### 【予防課】

市民一人ひとりに防火に関する正しい知識の普及と防火思想の高揚を図り、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防災意識の普及推進を図るため、火災予防運動を中心に、宿泊施設等への電話防火パトロール、ひとり暮らし高齢者宅の防火訪問などを実施し、また、自治会等に対し、防火講話、消防訓練などを行い、防火意識の高揚を図っている。工場、作業場、旅館、病院、飲食店、マーケット等の事業所及び危険物施設などにおいては、火災が発生した場合の人的、物的被害が大きいため、計画的に予防査察を行い、消防用設備の設置、防火管理体制の確立を図り、危険箇所の排除に努めている。

世界遺産並びに世界に誇る国宝・重要文化財については、関係機関と連携を密にし、市民と一体となった文化財防火防災対策を進めている。

これら伝統ある文化財と歴史的風土の保存とともに、中高層ビルの増加、市街地再開発事業による市街地整備など近代都市への脱皮という二面性を有しているが、これら個々の建築物に合った防火防災上の指導を設計から竣工まで行っている。

### (2) 消防体制

#### 【消防課】

#### ア 各種災害への対応力の強化

建築構造の高層化・深層化などに伴い、火災をはじめ救助事象など各種災害が複雑多様化するとともに、大規模な自然災害等により多数の負傷者が発生する事故、さらには近年問題となっているテロ災害、放射能災害及び豪雨災害などに対応できる消防車両・資機材の整備、専門的な知識及び技能の習得、より実践に即した訓練の実施により消防体制の強化を図っている。また、消防局消防課指揮支援隊による各種災害現場における指揮体制と安全管理の強化を図っている。

#### イ 消防施設の整備拡充

高層過密化する建築物に対応し、中央・西・北各消防署にはしご付消防自動車、南消防署には屈折はしご付消防自動車を配備している。また、危険物取扱施設やタンクローリー等危険物搬送車両の火災に対応するため、化学消防自動車を中央・南消防署にそれぞれ1台、計2台配備するとともに近代都市への変貌により地階等、密閉構造の建築物が増加していることから、これらの火災に対処するため泡消火装置や排煙機等の資機材整備を行い、市民生活の安全を確保している。

#### ウ 消防の広域化及び連携の強化

昨今の複雑多様化する災害形態のなか、消防に対しては、迅速で効果的な災害対応が求められているとともに、さらに大規模災害発生時には近隣市町村との連携など圏域を越えた広域災害対応が求められている。国においてもその必要性から平成29年4月「消防連携・協力の推進について」の通知が出され、連携協力の指針が示されたことを踏まえ、共同運用による消防の連携協力をさらに展開し、強化を図るとともに財政負担軽減の観点から、奈良市消防局と相楽中部消防組合消防本部との間で令和2年11月からはしご付消防自動車の共同運用を開始している。

### (3) 救急活動

#### 【救急課】

病院前医療体制のより一層の充実が求められているなか、救急救命士法が制定され、さらに充実を図るために業務の拡大高度化が推進され、メディカルコントロール協議会のもと、講習・実習等の諸条件を満たした認定救急救命士による気管挿管及び薬剤投与の実施や、平成22年10月からドクターカーの運用を開始したことによって、より高度な救命処置が行えるようになった。あらゆる救急事案に対応するため、救急自動車の資器材の整備、救急救命士がより高度な処置を行うための資器材が整備された高規格救急自動車を16台導入（うち、1台をドクターカーとして運用）し、現在、救急救命士67人（令和5年4月1日現在）をもって活動している。さらに、市民に対する応急手当の普及啓発活動を推進するため、AED（自動体外式除細動器）の取り扱いを含めた応急手当普及講習会を実施している。

### (4) 救助活動

#### 【消防課】

消防機関の行う救助活動は、近年、都市化の進展に伴い、災害の態様は複雑多様化・大規模化の傾向を強めており、救助事象における活動は多岐にわたっている。

これら災害に対処するには、救助活動に関する高度な知識と技術が要求されることから、当市では、南消防署に高度な救助資機材を導入した高度救助隊、中央消防署に特別救助隊、西消防署に専任救助隊、北・東消防署に兼任救助隊を配置し、熟練された隊員により、あらゆる災害に対処し、市民の安全安心に万全を期している。

また、国際消防救助隊員として6名の隊員を総務省消防庁に登録しており、海外での大規模災害が発生した場合の活動に備え、各種研修への参加をはじめ、あらゆる想定訓練、教養を実施し、隊員の資質の向上に努めている。

### (5) 防災対策

#### 【消防課、予防課、指令課】

#### ア 震災対策

大規模な地震時の火災等に備えて、現在耐震性100㎡の防火水槽を38基設置している。また、消防活動及び避難地の照明電源供給のために、中央消防署には電源車を配備している。今後も震災対策として水利不便地への消防水利等の設置及び消防資機材等の整備を図り消防力の充実強化を図る。

#### イ 消防広域相互応援

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の教訓から、平成7年6月、全国消防機関による緊急消防援助隊が創設され、広域消防応援体制が整えられた。また、奈良県下においても、平成8年5月、奈良県消防広域相互応援協定を締結、平成29年4月再締結し、大規模または特殊な災害が発生した場合の応援体制の整備を図った。これらの対応として、平成7年度以降高度救助用資機材、災害対応特殊救急自動車、支援車及び支援資機材等を計画的に導入配備するとともに平成23年3月に発生した東日本大震災や平成30年7月豪雨の経験を踏まえ、総務省消防庁より燃料補給車、支援車Ⅰ型、中型水陸両用車等の無償貸与を受け、大規模災害に対する救急救助体制、後方支援体制の更なる充実強化を図っている。

#### ウ 消防指令業務の共同運用

奈良市と生駒市は、平成26年度・27年度の2ヵ年事業で高機能消防指令センター整備を進め、平成28年4月1日から「奈良市・生駒市消防指令センター」を奈良市消防局第2庁舎（旧奈良市防災センター）内に開設し、消防通信指令業務の共同運用を開始した。

同指令センターでは、両市からの119番通報を一括して受報し、災害発生場所に消防車や救急車等を出動させている。消防指令業務を共同運用することで、施設整備費及び運用費のコスト削減などの財政面における業務の効率化を図るとともに、地震等による市域を超えた広域的な大規模災害発生においても迅速な応援体制を確保している。

また、近年、外国人観光客が関係する救急事案等が増加傾向であることから、外国人からの119番通報及び災害現場での対応を迅速、的確に行うため、電話での外国語通訳を民間委託し、外国人観光客が安心して訪れられる国際文化観光都市としてのイメージアップを図るとともに、令和4年10月

から聴覚や発話等の障がいにより音声での119番通報が困難な方でも、スマートフォンなどから円滑に119通報が可能となる「NET119緊急通報システム」の運用を開始し、市民は言うまでもなく、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進に努めている。

## エ 女性防災クラブ、幼年消防クラブ、ジュニア防災クラブ

### ① 女性防災クラブ

地域における女性を中心とした防火体制を拡充することにより、地域住民の生命、身体、財産及び地域に点在する文化財を火災その他の災害から守り、安全な地域社会の実現に資する。

クラブ数 23      クラブ人員 1,171人      (令和5年4月1日現在)

### ② 幼年消防クラブ

子供の火遊びによる火災を防止するため、幼年期に正しい火の取り扱いを教えるとともに消防の仕事に対する理解を深め、防火思想の普及を図ることにより、これらの火災の減少と幼児の健全育成を期する。

クラブ数 6      クラブ人員 157人      (令和5年4月1日現在)

### ③ ジュニア防災クラブ

ジュニア期から防火防災の知識と技術を習得するとともに、自助共助の必要性を学ぶことで将来の防災リーダー育成を目指す。

クラブ数 1      クラブ員数 29人      (令和5年4月1日現在)

## (6) 広報活動

### 【消防局総務課】

消防音楽隊は、「消防行政のPR」と「防火思想の普及」のため、消防局主催の諸行事、市内の小中学校への訪問演奏会、市のイベント等で演奏を行い、火災予防と市民の安全を願いつつ市民の皆様に愛され、派遣演奏等は全て中止としている。

## 2. 消防署

【消防局総務課】

### (1) 消防局(南消防署)

所在地	八条五丁目404番地の1		
竣工日	昭和58年10月5日		
構造	鉄筋コンクリート造 5階建		
敷地面積	6,622.12㎡		
建築面積	677.84㎡		
延床面積	2,431.65㎡		
建設費	建築費	763,856千円	用地費 642,888千円

### (2) 南消防署西大寺分署

所在地	二条町二丁目1番1号		
竣工日	平成4年1月28日		
構造	鉄筋コンクリート造 3階建		
敷地面積	454.80㎡		
建築面積	187.35㎡		
延床面積	564.33㎡		
建設費	建築費	234,058千円	用地費 163,984千円

### (3) 中央消防署

所在地	西木辻町43番地の1		
竣工日	平成18年3月28日		
構造	鉄筋コンクリート造 3階建		
敷地面積	1,333.05㎡		
建築面積	553.23㎡		
延床面積	1,405.20㎡		
建設費	建築費	371,393千円	用地費 24,200千円

### (4) 中央消防署佐保分署

所在地	法蓮町926番地の4		
竣工日	平成元年8月30日		
構造	鉄筋コンクリート造 2階建		
敷地面積	1,471.05㎡		
建築面積	249.75㎡		
延床面積	399.75㎡		
建設費	建築費	84,760千円	用地費 284,194千円

### (5) 中央消防署南部分署

所在地	横井五丁目497番地の3		
竣工日	昭和62年4月		
構造	鉄筋コンクリート造 2階建、一部鉄骨鉄筋造 平屋建		
敷地面積	1,088.93㎡		
建築面積	372.20㎡		
延床面積	500.40㎡		
建設費	建築費	122,795千円	用地費 46,772千円

**(6) 西消防署**

所在地 鶴舞西町1番19号  
竣工日 平成25年7月  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 2,144.40㎡  
建築面積 679.47㎡  
延床面積 1,185.69㎡  
建設費 建築費 325,500千円 用地費 252,611千円

**(7) 西消防署富雄分署**

所在地 三碓六丁目10番40号  
竣工日 昭和60年12月  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建、一部鉄骨鉄筋造 平屋建  
敷地面積 1,234.99㎡  
建築面積 320.72㎡  
延床面積 500.40㎡  
建設費 建築費 107,563千円 用地費 114,551千円

**(8) 北消防署**

所在地 右京二丁目1番地の1  
竣工日 平成4年3月31日  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 4,218.19㎡  
建築面積 484.11㎡  
延床面積 1,008.87㎡  
建設費 建築費 441,592千円 用地費 500,000千円

**(9) 東消防署**

所在地 針町647番地の1  
竣工日 昭和53年5月  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 1,469.95㎡  
建築面積 370.55㎡  
延床面積 587.05㎡  
建設費 建築費 95,700千円 用地費 24,495千円

**(10) 東消防署東部分署**

所在地 大柳生町1232番地  
竣工日 平成8年3月31日  
構造 鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積 1,019.66㎡  
建築面積 302.46㎡  
延床面積 492.36㎡  
建設費 建築費 155,530千円 用地費 13,500千円

**(11) 東消防署月ヶ瀬分署**

所在地	月ヶ瀬尾山3395番地の2
竣工日	昭和57年7月
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積	559.00㎡
建築面積	102.24㎡
延床面積	249.09㎡
建設費	建築費 34,900千円 用地費 不明

**(12) 消防局第2庁舎 (旧防災センター)**

所在地	八条五丁目404番地の1
竣工日	平成7年6月30日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4階建
敷地面積	6,622.12㎡(奈良市消防局・南消防署併設庁舎と同一敷地内)
建築面積	872.66㎡
延床面積	3,021.372㎡
総事業費	1,667,000千円 本体工事費 1,393,000千円 展示工事費 274,000千円
施設内容	1階 消防局救急課 2階 研修室、視聴覚室、救急措置訓練室、図書室 3階 消防局指令課、通信指令室、災害対策作戦室、コンピュータ室 4階 多目的ホール、備蓄倉庫、無線機械室

### 3. 職員の配置状況

【消防局総務課】

(令和5年4月1日現在)

区分 所属等	合計	消防局長	次長	課長 防災官 主幹 副署長	補佐 主査 中隊長	主任 小隊長 副小隊長	係員				
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士		
合計	387	1	1	21	54	96	126	1	87		
局	局長	1	1								
	次長	1	1								
	総務課	29		2	2	6	7		12		
	消防課	14		2	4	5	3				
	予防課	10		2	1	3	4				
	文化財防災官	(1)		(1)							
	救急課	7		1	1	1	3		1		
	指令課	18		4	4	3	7				
	小計	80	1	1	11	12	18	24		13	
署	中央消防署	本署	88	46		2	6	10	13		15
		佐保分署		21(22)		(1)	3	6	6		6
		南部分署		21(22)		(1)	3	6	8		4
	南消防署	本署	66	45		2	6	11	17		9
		西大寺分署		21(22)		(1)	3	6	7		5
	西消防署	本署	64	43		2	6	10	13		12
		富雄分署		21(22)		(1)	3	6	5	1	6
	北消防署	28	28		2	3	7	7		9	
	東消防署	本署	61	28		2	3	7	11		5
		東部分署		21(22)		(1)	3	6	9		3
月ヶ瀬分署		12(13)			(1)	3	3	6			
小計	307			10	42	78	102	1	74		
条例定数	412										

救急救命士96名、市長部局へ3名出向（定数外）、市長部局からの出向1名含、文部科学省文化庁へ1名出向（定数外）、文化財防災官、指揮救助隊長、佐保分署長、南部分署長、西大寺分署長、富雄分署長、東部分署長及び月ヶ瀬分署長は事務取扱。



#### 4. 消防車両等の配備状況

【消防課】

(令和5年4月1日現在)

署 所 区 分	計	消 防 局	中 央 消 防 署			南消防署		西消防署		北 消 防 署	東 消 防 署		
			本 署	佐 保 分 署	南 部 分 署	本 署	西 大 寺 分 署	本 署	富 雄 分 署		本 署	東 部 分 署	月 ヶ 瀬 分 署
計	118	22	16	6	5	16	4	11	4	10	12	7	5
ポンプ車	13		1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1
水槽付ポンプ車	4				1			1		1	1		
化学車	2		1			1							
30m梯子車	1							1					
35m梯子車	2		1							1			
25m屈折梯子車	1					1							
高所救助放水車	1											1	
I型救助工作車	2									1	1		
II型救助工作車	2		1					1					
III型救助工作車	1					1							
電源車	1		1										
高規格救急車	16	1	2	1	1	2	1	2	1	1	2	1	1
指令車	9	6	1					1			1		
広報車	5	3				1				1			
査察車	10	2	1			1	1		1	1	2	1	1
バス	1	1											
楽器搬送車	1	1											
搬送車	6	2	1		1			1			1		
中型水陸両用車	1	1											
支援車	2	2											
輸送車	1					1							
連絡車	1	1											
燃料補給車	1	1											
予防啓発車	1	1					1						
軽四輪積載車	1			1									
原動機付自転車	16		2	1	1	3	1	2	1	1	2	1	1
小型動力ポンプ	16	1	4	2		3		1		1	1	2	1

(注) 中央消防署・南消防署・佐保分署の小型動力ポンプ数には、管轄内の社寺及びならまち分を含む。

(注) ポンプ車・水槽付ポンプ車には災害対応特殊ポンプ自動車を含む。

## 5. 消 防 団

### (1) 消防団機械器具等配置状況

【消防課】

(令和5年4月1日現在)

分 団	防 災 学習車	防 災 活動車	救助資機材 搭載型車両	消 防 ポンプ 自動車	小 型 動 力 ポンプ	積載車	機 械 器 具		
							簡易デジタル 無 線 機	背 負 式 消火水のう	布 水 槽
計	1	1	1	1	107	95	209	176	103
消防団本部	1	1	1		1		13		
中 部 方 面 隊	三 笠				2	1	6		2
	春 日				4	1	7		1
	若 草				1	1	6		1
	白 毫 寺				1	1	4		1
	大 安 寺				2	2	6	4	2
南 部 方 面 隊	東 市				9	9	10		2
	辰 市				4	2	6	2	2
	明 治				6	6	5		3
	帯 解				7	7	7		7
	精 華				4	4	6	7	4
西 部 方 面 隊	都 跡				1	1	6		1
	平 城				3	3	8	11	4
	伏 見				1	1	6		1
	富 雄				4	4	12		4
東 部 方 面 隊	田 原			1	15	13	16	36	18
	柳 生				6	6	15	21	9
	大 柳 生				7	6	15	35	6
	東 里				8	6	14	18	11
	狭 川				3	3	10	8	4
	月ヶ瀬				7	7	13	14	9
	都 祁				11	11	18	20	11

### (2) 報酬

【消防局総務課】

(単位：円)

区 分	団 長	副団長 方面隊長	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員
			方面隊長 副隊長	分団に所属 するもの				
支給年額	350,000	270,000	160,000	145,000	88,000	65,000	55,000	50,000

### (3) 出勤報酬

【消防局総務課】

種 別	1日当たり出勤報酬額	備 考
災 害	8,000 円	1日の出勤時間が4時間未満のときの出勤報酬額は、1日当たりの出勤報酬額に2分の1を乗じて得た額とする。
人 命 検 索	8,000 円	
警 戒	6,000 円	
訓 練	5,000 円	
機 械 器 具 点 検	4,000 円	
そ の 他	4,000 円	

## 6. 消防水利状況

【消防課】

### (1) 消防水利状況

(令和5年4月1日現在)

種 別	個所数	内 訳					
		中央消防署	南消防署	西消防署	北消防署	東消防署	
消 火 栓	公設消火栓	5,094	1,613	1,256	1,463	495	267
	私設消火栓	334	200	73	30	31	0
防 火 水 槽	公設防火水槽 有蓋 40 <sup>t</sup> 以上100 <sup>t</sup> 未満	517	124	58	123	33	179
	100 <sup>t</sup> 以上(内耐震)	41(38)	13(12)	6(6)	11(11)	6(6)	5(3)
	無蓋 40 <sup>t</sup> 以上100 <sup>t</sup> 未満	135	12	0	0	1	122
	100 <sup>t</sup> 以上	0	0	0	0	0	0
	私設防火水槽 有蓋 40 <sup>t</sup> 以上100 <sup>t</sup> 未満	708	215	167	194	60	72
	100 <sup>t</sup> 以上	43	17	13	11	0	2
	無蓋 40 <sup>t</sup> 以上100 <sup>t</sup> 未満	34	6	2	1	0	25
	100 <sup>t</sup> 以上	8	2	3	1	1	1
そ の 他	プール	95	31	15	22	10	17
	河川	27	7	6	2	0	12
	池	194	42	35	20	22	75

### (2) 耐震防火水槽 (100m<sup>3</sup>以上)

所 在 地	竣工年月日	建設費用	貯水量
西木辻町 済美小学校校庭	昭和52年12月 1日	8,700,000 円	100 m <sup>3</sup>
紀寺町 飛鳥小学校校庭	54年 3月20日	9,490,000 円	100 m <sup>3</sup>
法蓮町 佐保小学校校庭	54年12月20日	9,500,000 円	100 m <sup>3</sup>
大宮町四丁目 大宮小学校校庭	56年 3月10日	10,000,000 円	100 m <sup>3</sup>
三条町 三条町児童公園に隣接	56年 7月13日	寄 付	100 m <sup>3</sup>
柴屋町 帯解小学校校庭	56年12月24日	10,750,000 円	100 m <sup>3</sup>
右京四丁目 右京小学校校庭	平成 9年 3月 3日	15,553,000 円	100 m <sup>3</sup>
鳥見町三丁目 鳥見小学校校庭	9年 8月13日	15,834,000 円	100 m <sup>3</sup>
鶴舞東町 鶴舞小学校校庭	11年 3月 3日	15,361,500 円	100 m <sup>3</sup>
学園南三丁目 帝塚山学園北側歩道	13年 3月12日	学園前駅南再開発による設置	100 m <sup>3</sup>
朱雀六丁目 朱雀小学校校庭	13年 3月23日	16,065,000 円	100 m <sup>3</sup>
西登美ヶ丘四丁目 登美ヶ丘小学校校庭	13年11月29日	17,283,000 円	100 m <sup>3</sup>
神功二丁目 神功小学校校庭	14年11月 6日	13,156,500 円	100 m <sup>3</sup>
三条本町 J R 奈良駅東側区画 整理地内	15年12月10日	J R 奈良駅東側区画 整理事業による設置	100 m <sup>3</sup>
東登美ヶ丘四丁目 東登美ヶ丘小学校校庭	17年11月28日	13,125,000 円	100 m <sup>3</sup>
宝来五丁目 伏見南小学校校庭	17年12月 1日	13,587,000 円	100 m <sup>3</sup>
青山九丁目 鼓阪北小学校校庭	19年 2月 5日	11,497,500 円	100 m <sup>3</sup>
西九条一丁目 辰市小学校校庭	19年 2月 5日	8,942,850 円	100 m <sup>3</sup>
六条二丁目 六条小学校校庭	19年 2月 8日	9,373,350 円	100 m <sup>3</sup>
西千代ヶ丘一丁目 三碓小学校校庭	19年 2月16日	9,309,300 円	100 m <sup>3</sup>
あやめ池南九丁目 あやめ池小学校校庭	19年 8月18日	10,315,200 円	100 m <sup>3</sup>
南京終町 済美南小学校校庭	19年 8月31日	10,239,600 円	100 m <sup>3</sup>

所在地	竣工年月日	建設費用	貯水量
左京三丁目 左京小学校校庭	19年 8月31日	10,330,950 円	100 m <sup>3</sup>
四条大路五丁目 都跡小学校校庭	19年 8月31日	10,315,200 円	100 m <sup>3</sup>
百楽園四丁目 青和小学校校庭	20年 9月 9日	11,637,150 円	100 m <sup>3</sup>
中町 富雄南小学校校庭	21年 2月 9日	12,985,350 円	100 m <sup>3</sup>
佐保台三丁目 佐保台小学校校庭	21年 2月 9日	12,146,400 円	100 m <sup>3</sup>
法蓮町 佐保川小学校校庭	21年 2月20日	12,337,500 円	100 m <sup>3</sup>
菅原町 伏見小学校校庭	21年 8月28日	12,345,900 円	100 m <sup>3</sup>
古市町 東市小学校校庭	21年 9月10日	12,548,550 円	100 m <sup>3</sup>
秋篠町 平城小学校校庭	21年12月25日	12,345,900 円	100 m <sup>3</sup>
二名一丁目 二名小学校校庭	22年 3月29日	12,988,500 円	100 m <sup>3</sup>
大安寺西一丁目 大安寺西小学校校庭	22年 9月 9日	10,802,400 円	100 m <sup>3</sup>
東登美ヶ丘三丁目 平城西小学校校庭	22年 9月 9日	10,946,250 円	100 m <sup>3</sup>
都祁吐山町 旧吐山小学校校庭	22年 9月 9日	10,946,250 円	100 m <sup>3</sup>
横田町 田原小・中学校校庭	23年 2月 7日	11,659,200 円	100 m <sup>3</sup>
椿井町 椿井小学校校庭	23年 9月12日	11,511,150 円	100 m <sup>3</sup>
都祁白石町 都祁小学校校庭	24年 9月11日	10,941,000 円	100 m <sup>3</sup>

## 7. 防火・防災訓練と主な行事

### (1) 防火・防災訓練（令和4年度）

【消防課】

近畿府県合同防災訓練及び緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（滋賀県長浜市）・水防訓練・火災予防運動に伴う各種訓練・奈良市消防局災害対応訓練・水難訓練

### (2) 主な行事予定（令和5年度）

【消防局総務課】

- 6月第2週 危険物安全週間
- 9月1日 防災の日
- 9月9日 救急の日
- 11月9日～15日 秋季全国火災予防運動
- 12月20日～31日 歳末火災予防運動
- 1月13日 消防出初式
- 1月23日～29日 文化財防火運動
- 3月1日～7日 春季全国火災予防運動

## 8. 救急活動

【救急課】

### (1) 事故別救急出場状況

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災	52	45	37	33	24
自然災害	3	0	0	0	0
水難	4	7	7	4	1
交通	1,208	1,256	981	1,059	1,057
労働災害	165	174	149	154	173
運動競技	113	123	66	145	113
一般負傷	3,437	3,685	3,470	3,402	3,848
加害	68	63	51	47	67
自損行為	150	182	172	161	175
急病	13,151	13,659	12,096	13,031	15,699
その他	2,011	1,908	1,457	1,726	1,839
計	20,362	21,102	18,569	19,762	22,992

### (2) 傷病者搬送人員

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
死亡	176	207	184	237	244
重傷(重症)	1,017	927	846	823	858
中傷(中症)	9,390	9,235	8,358	9,455	9,829
軽傷(軽症)	7,846	8,731	7,665	7,511	9,054
その他	3	1	3	2	32
計	18,432	19,101	17,056	18,028	20,017

### (3) 市内の救急病院

国立	公立	公的	私	計
奈良医療センター	奈良県総合医療センター、市立奈良病院	済生会奈良病院	おかたに病院、奈良西部病院、沢井病院 西奈良中央病院、石洲会病院、高の原中央病院、松倉病院、吉田病院、西の京病院、奈良小南病院	14病院

### (4) 奈良県救急医療管制システム(e-MATCH)をはじめとする各種医療システムとの連携

奈良県では、救急医療を円滑かつ迅速に行うため、平成21年の消防法改正に伴う救急患者の搬送・受け入れの基準の策定を行うとともに、この基準をもとに開発した医療機関から登録された診療情報に対し、消防機関からの救急患者情報をマッチングさせることにより、適切な医療機関への搬送を目指すシステムである「奈良県救急医療管制システム(e-MATCH)」の運用を行っている。

また、救急需要の増加に伴う対策として、電話による相談窓口としての「奈良県救急安心センター相談ダイヤル(#7119)」の運用、インターネット環境を活用した「奈良県広域災害・救急医療情報システム」における住民への医療情報の提供を行っている。

これらのシステムを積極的に活用することにより、より一層の救急医療体制の充実を目指している。

## 9. 火災概況（前年との比較）

【予防課】

区分	年別	令和4年	令和3年	比較 (△減)
出火件数		77	63	10
建物		41	41	0
林野		4	3	1
車両		6	5	1
その他		26	14	12
焼損棟数		48	63	△15
全焼		6	7	1
半焼		4	1	3
部分焼		10	18	△8
ぼや		28	37	△9
建物焼損床面積 (㎡)		905	955	△50
建物焼損表面積 (㎡)		58	227	△169
林野焼損面積 (a)		12	37	△25
死傷者		11	13	△2
死者		6	0	6
負傷者		5	13	△8
り災世帯数		39	44	△5
全損		13	6	7
半損		1	0	1
小損		25	38	△13
り災人員		81	108	△27
損害額 (千円)		122,767	79,181	43,586
建物		120,321	72,899	47,422
林野		0	0	0
車両		1,629	5,188	△3,559
その他		817	1,094	△277
出火率 (件) (人口1万人当たり)		2.2	1.8	0.4

## 10. 通 信 施 設

【指令課】

### (1) 無線電話

(令和5年4月1日現在)

区分・局別		実装周波数名称	出力 (w)	計	局	中央署	南署	西署	北署	東署	
消防救急無線	デジタル無線機	車載無線機	活動波(1~4) 主運用波 統制波(1~3)	10	87	22	17	13	11	8	16
		可搬型無線機		10	8	3	1	1	1	1	1
		携帯無線機		5	65	13	14	11	10	6	11
	アナログ無線機	可搬型無線機	防災相互波	10	2	2					
		携帯無線機		5	18	6	3	3	2	1	3
		携帯無線機 (署活動系)	署活系(1ch~4ch) 防災相互波 県内共通波 (G1~G17)	1	167 (166)	26	38	30	28	16	29
市防災行政無線			1	1	1						
救急車積載携帯電話			0.8	16	1	4	3	3	1	4	
画像伝送装置				16	2	4	3	3	1	3	
位置管理用通信機				57	7	13	10	9	7	11	

### (2) 有線電話

(令和5年4月1日現在)

局別	区分	計	局	中央署	南署	西署	北署	東署
火災専用電話 (固定電話・IP電話等) 119番		12	12					
非常用 119番 受付		10	10					
携 帯 119番		4	4					
携 帯 119番 転送回線		6	6					
一般加入電話 (FAX回線数込み)		31	(一般) 10 (発信専用) 3	5	3	4	2	4
内線		219	84	40	28	24	14	29
テレガイド		14	14					
警察電話		1	1					
110番転送		1	1					
市役所直通		1	1					
企業局直通 (緑ヶ丘浄水場)		2	2					
阪神高速		1	1					
近鉄生駒駅		1	1					
相楽中部消防組合消防本部		1	1					

(3) 119番受信回数（火災報知専用電話使用状況）

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
緊急性を要する通報	火 災	143	137	99	94	104
	救 急	19,707	20,426	18,005	19,176	23,094
	救 助	190	234	207	197	281
	警 戒	248	228	245	261	267
	水 防	0	1	0	0	6
	調 査	2	28	9	5	6
	小 計	20,290	21,054	18,565	19,733	23,758
緊急性を要しない通報	病院問合せ	1,704	1,424	902	891	1,239
	問 合 せ	2,987	2,996	2,338	1,910	1,728
	相 談	253	254	290	352	624
	苦 情	17	21	12	30	18
	感 謝	24	20	18	18	26
	間 違 い	1,154	1,280	1,393	1,438	1,588
	いたずら	356	299	241	401	291
	そ の 他	1,952	2,018	1,817	1,795	2,358
	小 計 ①	8,447	8,312	7,011	6,835	7,872
	回線テスト	374	279	219	166	333
	自動通報試験	460	417	461	499	561
	訓練通報	579	611	437	475	572
	小 計 ②	1,413	1,307	1,117	1,140	1,466
	小計①+②	9,860	9,619	8,128	7,975	9,338
合 計	30,150	30,673	26,693	27,708	33,096	



